

熊本地震活動報告 4月26日 小規模第47報より抜粋

◆第2段階★第1クール1日目の活動報告

第2段階（4月25日（月）から5月31日（火）まで）は本日スタートしました。緊急的支援から、平常時へ戻すための支援へとして、1クール：5日、1回あたり6人の介護系スタッフが被災事業所に入る支援です。

まだ、運営の仕方も模索中ですが、毎夜、ミーティングをしながら進めていく

◆第2段階★第1クール1日目の活動報告

日時：2016年4月25日（月）

メンバー：活動者6人＋現地スタッフ＋コーディネーター＝12名

議題（支援先）：あんず（益城町）・ふれあいホーム（熊本市東区・地域拠点）

いつでんきなっせ（熊本市東区）＋利用者宅

★議題について話し合った内容

【あんず（小規模多機能）→「ふれあいホーム」にて入浴】事業所が断水のため、ふれあいホームに移動して入浴介助。要介護5（女性2人）事前に入浴支援があるとわかっていれば準備ができた。慣れないスタッフ、場所で「怖い」と言っていたのが利用者には悪い思いをさせた。顔見知りのスタッフについてきてもらったのだが直接介助の場にはいなかった。水道の圧が不十分で、熱くなったり冷たくなったりとお湯の状況が良くなかった。この地域は0時～6時まで断水（地域によって違いあり）（断水が続いている地域もあり）。今日から水が使えるので軽度者はお風呂が入れる。男性スタッフがいれば重介護者を入れられるが、その状況になかった。スタッフの大変な実情を感じた。スタッフが被災していることもあり、疲労が見られた。

【利用者宅の片付け】

すでに数回に分けて片付けが行われていたが、建物の被害が気になった。どのタイミングで家に帰れるのか、状況がまだわからないので、ニーズの把握が大切だと感じた。引っ越ししたばかりで地域との関わりが少ない状況である。

【決定事項・その他】

- ・断水の地域にはおしり拭きなど道具を持って支援する
- ・各担当決め（サロンとして活用している拠点を支援者宿泊所にしており、自炊での共同生活のため）